

【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年9月4日

【発行者名】 SBIアセットマネジメント株式会社

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 梅本 賢一

【本店の所在の場所】 東京都港区六本木一丁目6番1号

【事務連絡者氏名】 中村 慎吾

【電話番号】 03-6229-0170

【届出の対象とした募集内国投資
信託受益証券に係るファンドの
名称】 SBI・バンガード・S&P500インデックス・ファンド

【届出の対象とした募集内国投資
信託受益証券の金額】 当初申込期間 上限1,000億円
継続申込期間 上限5,000億円

【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2019年8月27日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」という。）の第二部 ファンド情報 / 第1 ファンドの状況 / 3 投資リスクの参考情報の注釈に関して、開示前の検証が不十分であり本来不要である注釈が記載されたままとなっていることが判明したため、これを訂正するため本訂正届出書を提出するものです。

2【訂正箇所および訂正事項】

下線部__が訂正部分です。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

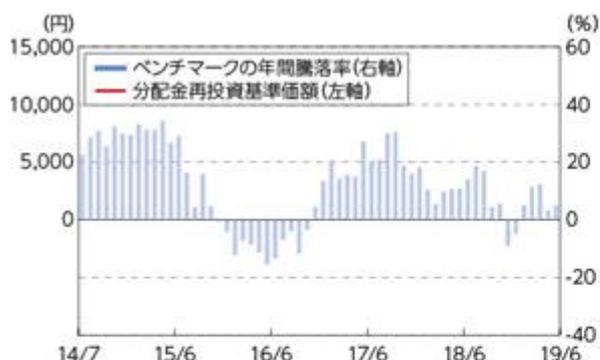
3【投資リスク】

（参考情報）

< 変更前 >

ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額の推移

（2014年7月～2019年6月）



ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

（代表的な資産クラス：2014年7月～2019年6月）

ファンドの年間騰落率はS&P500指数(円換算ベース)を用いています。



*本ファンドは、2019年9月26日より運用開始予定であるため、有価証券届出書提出日現在、ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額は
ありません。したがって、上記年間騰落率のグラフはベンチマークであるS&P500指数(円換算ベース)の年間騰落率の推移のみを表示しています。

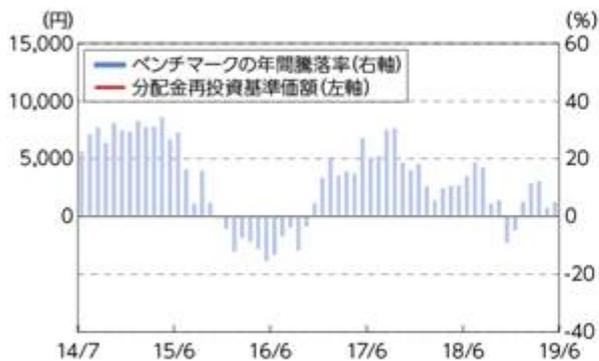
*「ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較」は、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、ファンド及び他の
代表的資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。ただし、ファンドの運用は、2019年
9月26日より開始する予定であり、有価証券届出書提出日現在、該当事項はありません。そのため、S&P500指数(円換算ベース)の数値を用いて
算出しております。なお、全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

*代表的な資産クラスの騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、
正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた
損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

< 変更後 >

ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額の推移

(2014年7月～2019年6月)



ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(代表的な資産クラス：2014年7月～2019年6月)

ファンドの年間騰落率はS&P500指数(円換算ベース)を用いています。



- *本ファンドは、2019年9月26日より運用開始予定であるため、有価証券届出書提出日現在、ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額は
ありません。したがって、上記年間騰落率のグラフはベンチマークであるS&P500指数(円換算ベース)の年間騰落率の推移のみを表示しています。
- *「ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較」は、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、ファンド及び他の
代表的資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。ただし、ファンドの運用は、2019年
9月26日より開始する予定であり、有価証券届出書提出日現在、該当事項はありません。そのため、S&P500指数(円換算ベース)の数値を用いて
算出しております。なお、全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。